

## 青森県内 40 市町村における喫煙対策の現状

～2016 年度アンケート調査の総括～

2016 年 12 月 3 日

青森県タバコ問題懇談会 代表世話人

山崎照光、鳴海 晃、久芳康朗

私たち青森県タバコ問題懇談会は、県内の医療、保健、教育、行政、市民など様々な立場の有志が集まり、関係組織・団体と協力しながら、タバコによる甚大な健康被害から青森県民を守るために、「タバコのない青森」の実現をめざしています。そのためには、まず全ての学校・幼稚園・保育施設、医療機関、自治体庁舎を敷地内禁煙にすること、また飲食店を含むすべての公共施設・職場を建物内禁煙にすること、そして路上、公園、観光地などの屋外における受動喫煙をゼロにするべきだと考えています。そこで当懇談会では 2008 年から県内全市町村の公共施設(庁舎・議会棟、公民館、運動施設、病院・診療所)および公立学校(中学校、小学校、幼稚園)の喫煙対策状況を毎年調査集計し公表しております<sup>(1)</sup>。2016 年度も全 40 市町村と県の公共施設・公立学校の喫煙対策状況についてアンケート調査を実施し、全ての自治体から回答が得られました。その集計した結果をご報告いたします。

### 1、公共施設・公立学校の喫煙対策の変遷(図1、2)

全施設(1,938 施設)の喫煙対策実施状況をみると、2015 年度では敷地内禁煙 853 施設(44%)、建物内禁煙 925 施設(48%)、施設内分煙 100 施設(5%)、喫煙対策なし 60 施設(3%)でした(図1)。2008 年度の調査では敷地内禁煙 639 施設(33%)、建物内禁煙 530 施設(27%)、施設内分煙 535 施設(27%)、喫煙対策なし 248 施設(13%)でしたので、敷地内禁煙や建物内禁煙の施設は増加し、施設内分煙や喫煙対策なしの施設は減少しました。今年初めて平内町が、全ての施設で敷地内禁煙を達成しました。また今別町、蓬田村、板柳町、鶴田町、田舎館村、七戸町、横浜町、むつ市、東通村、風間浦村の 10 市町村では、全ての施設が敷地内禁煙もしくは建物内禁煙を達成しています。また施設別に喫煙対策状況を集計すると、最も喫煙対策が進んでいるのは公立学校(高校、中学校、小学校、幼稚園)でした。今年度は全校(558 校)が敷地内禁煙となりました。一方で庁舎・議会棟、公民館・公共施設、屋内運動施設、屋外運動施設、病院・診療所には、いまだに分煙や、分煙対策すらない施設が存在しております。すなわち施設内分煙(100 施設)および喫煙対策なし(60 施設)を合計した 160 施設(8%)は、「屋内完全禁煙」を求める FCTC の「受動喫煙防止ガイドライン」に違反しています。該当する 30 の自治体(県も含め)は、日本国政府が批准している FCTC に則り、早急に全ての公共施設を建物内禁煙とするべきです。

### 2、喫煙対策総合点数による自治体ランキング

各市町村における喫煙対策状況について、独自に喫煙対策総合点数を計算し評価しました<sup>(1)</sup>。喫煙対策総合点数は、敷地内禁煙施設の割合×100 点+建物内禁煙施設の割合×80 点+施設内分煙施設の割合×20 点+喫煙対策なしの施設の割合×0 点の計算式で求めました。今回用いた計算式では、敷地内禁煙や建物内禁煙の施設割合が多いと点数が高くなります。一方、施設内分煙や喫煙対策なしの施設割合が多く受動喫煙防止対策が不十分であると点数が低くなります。県内で最も禁煙化が進んでいる自治体は今年度は、全ての施設が敷地内禁煙になった平内町であり、喫煙対策総合点数は 100 点でした。ワーストは昨年と同じ佐井村で 56.3 点でした(図 3)。喫煙対策総合点数の 41 自治体の平均は 2008 年には 59.9 点でしたが、2016 年には 82.5 点になっており、全体として喫煙対策は進んでいるものと思われました(図4)。

### 4、まとめ

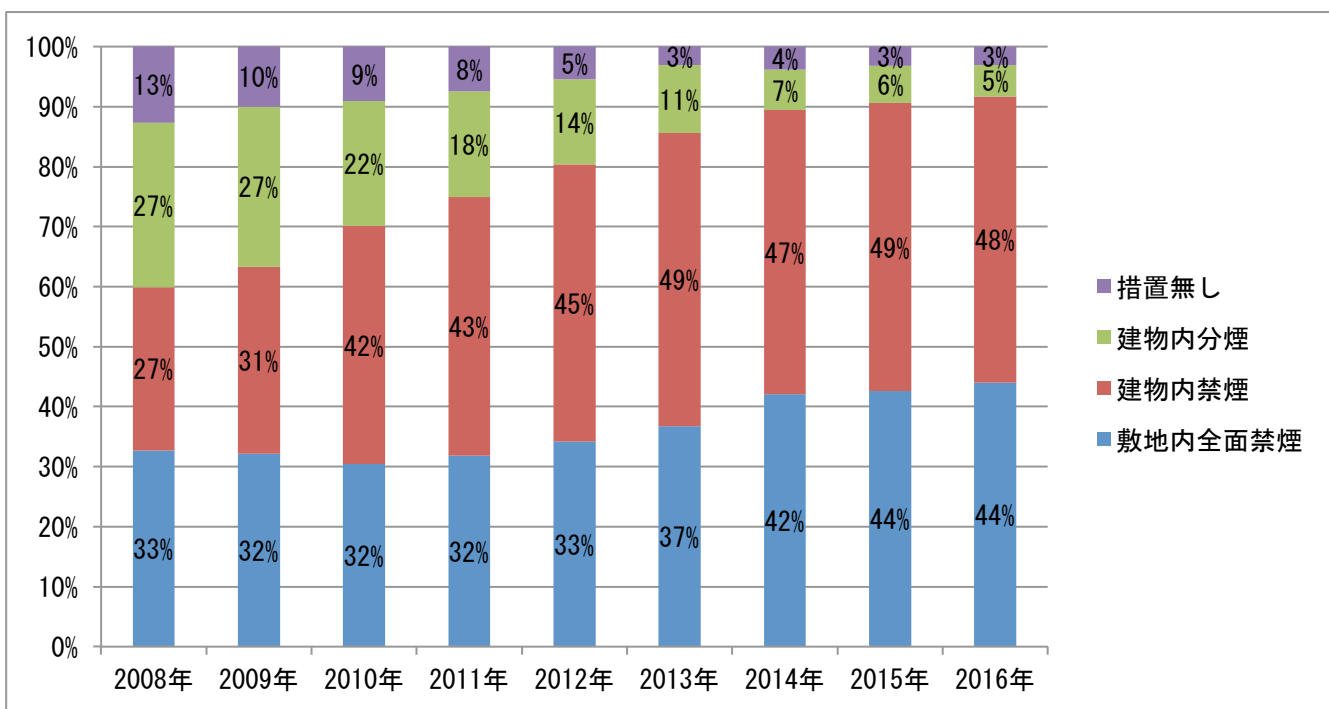
- ・受動喫煙対策を実施する市町村は増加傾向にあるが、市町村間で大きな格差が存在する。
- ・今年初めて平内町が、全ての施設で敷地内禁煙を達成した。また今別町、蓬田村、板柳町、鶴田町、田舎館村、七戸町、横浜町、むつ市、東通村、風間浦村の 10 市町村では、全ての施設が敷地内禁煙もしくは建物内禁煙を達成した。

- ・青森県内の全ての公立学校が敷地内禁煙を達成した。一方で青森県には分煙の病院が1施設存在する。
- ・タバコ規制枠組条約(FCTC)の「受動喫煙防止ガイドライン」を知らない自治体(蓬田村)が存在したが、2010年2月25日の厚生労働省局長通知について知らない自治体はなかった。
- ・ワースト1位が続く佐井村に対し直接訪問するなど介入が必要。

6、文献

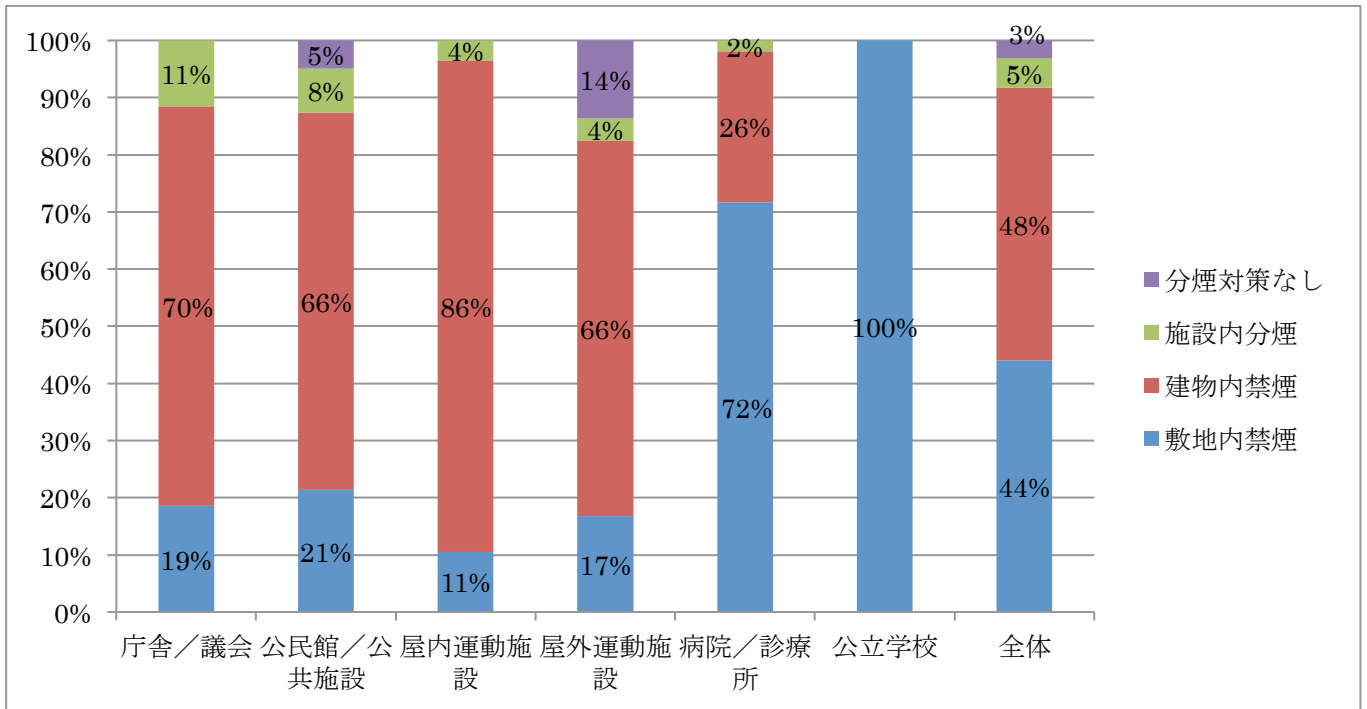
(1) 鳴海晃、久芳康朗、山崎照光、新谷進一、中路重之：青森県内40市町村における喫煙対策の現状、日本禁煙学会雑誌、第5巻第6号、2010年12月22日 ([http://nosmoke.xsrv.jp/gakkaisi/201012/10\\_05\\_06\\_1220\\_p165.pdf](http://nosmoke.xsrv.jp/gakkaisi/201012/10_05_06_1220_p165.pdf))

図1 公共施設・公立学校の喫煙対策の変遷



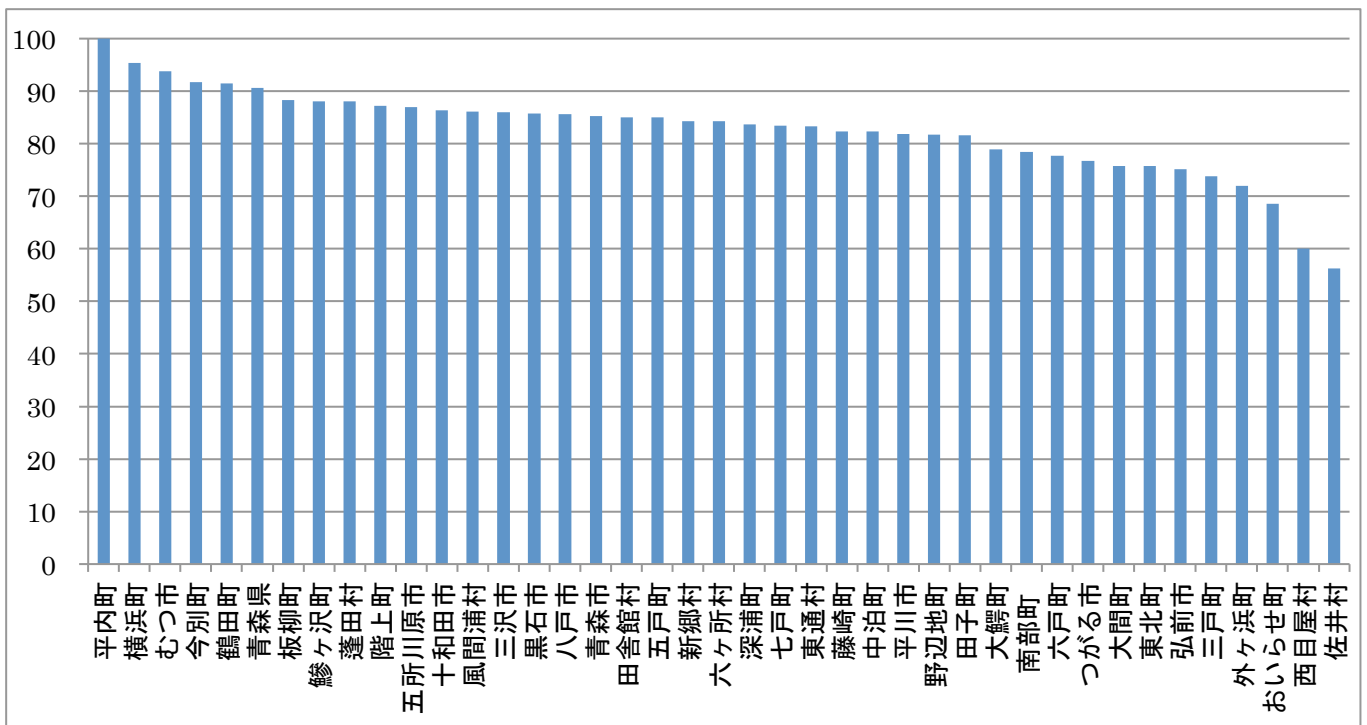
敷地内禁煙や建物内禁煙の施設は増加し、施設内分煙や喫煙対策なしの施設は減少した。

図2 公共施設・公立学校の喫煙対策状況



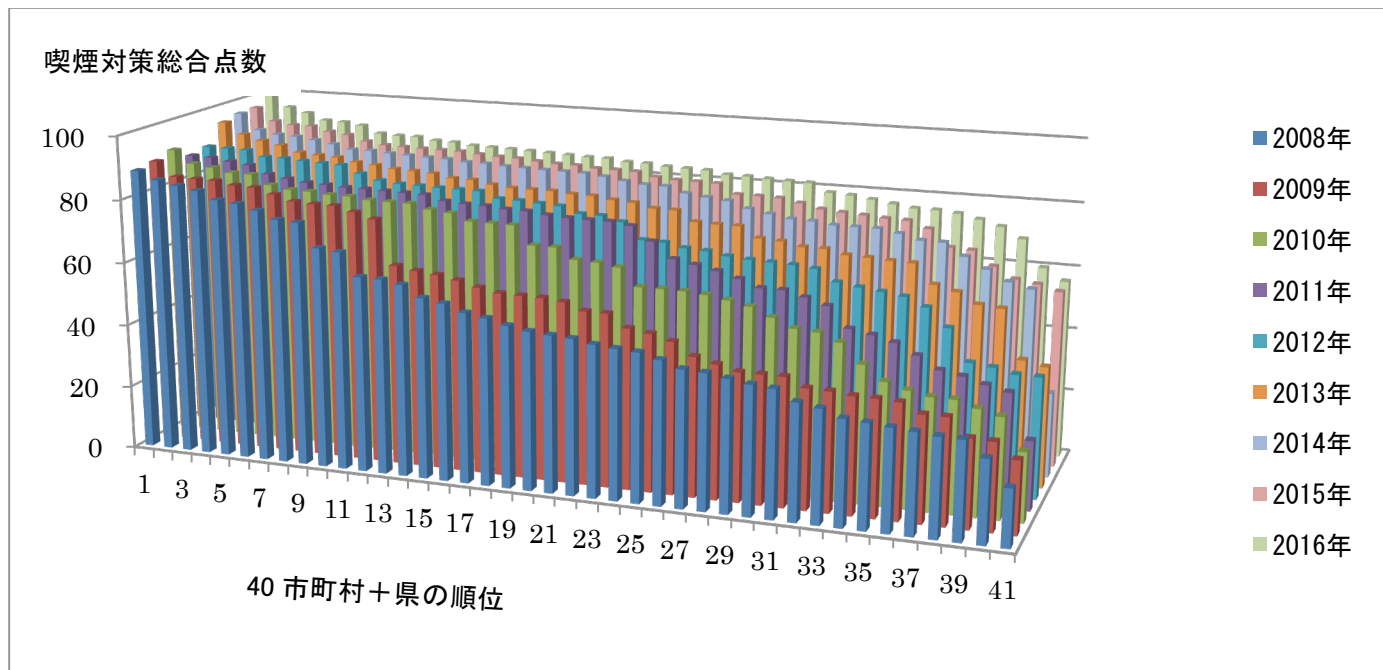
公立学校の喫煙対策は進んだが、その他の施設は立ち後れている。

図3 喫煙対策総合点数による自治体ランキング



県内で最も禁煙化が進んでいる自治体は平内町(100点)、ワーストは佐井村(56.3点)。

図4 喫煙対策総合点数の変遷



喫煙対策総合点数の平均は2008年には59.9点であったが、2016年には82.5点となり、全体として喫煙対策は進んでいる。